

H23年度『推進員の会』が発足しました

委嘱状交付 7/12(火)

中能登町男女共同参画推進員の会が、平成 23 年 7 月 12 日、23 名の人員により発足いたしました。私たちを取り巻く社会環境は、年々厳しさを増し、少子高齢地方の就職難などにより、人口減少が著しい限りで、ややもすれば、地域・町の存続さえもおびやかす状況ともなっています。

男女共同参画という前に、安心して生活が送れる社会のために、一人一人の人権尊重を基に、男性・女性だからこそ見えてくる観点があると思います。よって最終的には、皆が主体的に社会の問題・課題に取り組んでいける人へと意識の改革に努めていきたいと考えています。

— 推進員の会 会長 田村 喜代史 —



推進員の会 第1回研修会開催 8/28(日)

県政出前講座を利用し、県の男女共同参画課 本山課長を講師に迎え、講義が行われました。当日は、15名の推進員が参加し、「いしかわ男女共同参画プラン 2011」に基づいた県の取り組みについて理解を深めました。その後、5人ずつ3グループに分かれてワークショップを行い、多数の意見が交わされた後、グループごとの発表、また質疑応答がなされました。ワークショップ実施により、各々が改めて『男女共同参画』を考える機会が設けられ、今後推進員ができることは何かを真剣に考え、これからの活動につながる大変意義のある研修会となりました。



男女共同参画の理解深める - 推進講演会開催 - 10/22(土)

「あらためて 12 年目の男女共同参画」と題してご講演いただいたのは、中能登町出身の常光利恵さん。豊富な経験と知識に基づいた、具体的でわかりやすい内容でした。特に「お先立ちは順不同である」という場面では、夫婦の先立ちは誰にもわからないため、男も女も「その時」に備えねばならないなど、会場からは共感の拍手で、大変盛り上がりました。アンケート結果から「ユーモアを交えて筋の通った話が気持ちよかった」「エネルギーをいただいた」「楽しんで聴くことができた」などたくさんの声があり、これからはより自分らしく生きる大きなきっかけづくりとなりました。なお、当日はPC 要約筆記・手話を実施しました。ちなみに 120 人の来場者の内、男性は約 1 割でした。より多くの男性集客は、来年の大きな取組み課題のひとつです。



パパと一緒にケーキ作り - パパと子どもの親子クリスマスケーキづくり教室 - 12/24(日)



日頃は仕事で料理ができないお父さんと子どもが協力してケーキづくりを楽しみながら、男女共同参画への理解を深めてもらうために、推進員と町で企画。父親と子どもを対象に 24 組の 56 名の親子が参加し、フルーツの飾り付けなどケーキ作りを楽しみました。会食後は、男女共同参画推進ネットワーク小松の会による「家族」をテーマに啓発紙芝居も実施しました。

定員オーバーになるほどの盛況ぶりです。アンケート結果からは、「また機会があれば参加したい」「子どもの想像力はすごいと思いました」「娘の喜ぶ顔を見て参加してよかったです」など、参加者からの嬉しい声を沢山聞くことができました。



推進員の会 第2回研修会開催 12/17(土)

発足以来からの活動報告も兼ね、平成 23 年度の活動を振り返りながら、意見交換を実施しました。その内容を一部紹介。

- ・メンバーの中でもまだ『男女共同参画』がどういうことなのか理解できていないと思う。
- ・来年度はもっと自分でも勉強して男女共同参画を理解したいと思う。
- ・今回、メンバーに入れていただいて有り難い。数年前まで男女共同参画ということあまり考えなかったが、すごいことを進めているのだなと改めて思っている。しっかりと皆さんと一緒に活動させていただいて、住みやすい地域にしていきたい。



尊重し合える町づくり目指して - 推進員の会 第3回研修会開催 1/31(火) -



今まで以上に男女がともに尊重し合えるような、思いやりのあるあたたかい町をつくりたいという会員の思いから、いよいよ3つの部会が立ち上がりました。各部会のネーミングも次のとおりユーモアたっぷりです!!

主に意識づくりを目指した 『種まきたい』

主に社会づくりを目指した 『むすびたい』

主に環境づくりを目指した 『もっとふれあいたい』

現在、各部会で活動実施に向けて、少しずつ動いている状況です。今後は、以上の3つの各部会を中心に一層の啓発・普及活動を進めながら、微力ながらメンバー一同、町づくりの一助となるよう、推進に励みたいと思います。

平成24年度中能登町男女共同参画推進施策の実施状況

啓発事業

1. コーポの日 5月27日(日) ※町のクリーン&グリーンデーと同日開催
 - ・住民への意識啓発を高めるため、主に家事協力を呼びかける
 - ・広報・HP・チラシ・町内告知端末にて周知する他、CATV用に、推進員の会のメンバーによるCMを収録し、現在放映中
2. 男女共同参画週間周知 6月23日～29日
 - ・町内告知端末を利用し、期間中啓発を図る
3. 男女共同参画推進講演会 11月17日(土) ※女性のつどい共催
 - ・御供田幸子氏を講師に、来場者対象に男女共同参画にかかるアンケート実施
 - ・啓発用にH24年度男女共同参画週間のキャッチフレーズ「あなたがいる わたしがいる 未来がある」を入れたポケットティッシュを約2,000個作成予定
4. 料理教室 12月上旬 ※県の推進員及び応援団と実施予定
 - ・内容は未定だが、昨年好評だった親子対象のクリスマスケーキづくりを検討中
 - ・料理教室開催後は啓発紙芝居を上演し、参加者対象にアンケート実施
5. 啓発用手作り紙芝居作成 12月上旬
 - ・中能登町でも啓発紙芝居の作成に向けて、紙芝居作成の流れについて指導を賜るため、羽咋市さんとの交流会開催(5/8)
 - ・現在、啓発部会を中心に原案がまとまり、ストーリーを基にカット割に進んでいる状況
 - ・12月上旬の料理教室開催時に紙芝居完成披露を兼ねて上演予定

推進体制

1. 町男女共同参画審議会委員による審議会開催(年1回)
 - ・昨年度の取組状況及報告及び進捗状況の審議等
2. 県男女共同参画推進員及び応援団8名による打合せ
 - 必要に応じて随時開催予定
 - ・昨年は各種啓発事業の運営・開催を目的に8名との連携を計るため、月1回程度打合せ会を実施したが、昨年度、23名による町推進員の会が発足したことにより、会の取組状況が活発化しているため、今後は推進員の会の活動支援を目標に、随時開催を予定
3. 中能登町推進員の会による会議
 - ・全体会(町推進員23名対象)
 - 4月24日実施・・・各部会ごとの事業計画、進捗状況報告
 - 8月下旬・・・中間報告
 - 12月中旬・・・各部会で実施した事業にかかる反省会
 - 3月上旬・・・H24年度活動報告会
 - ・部会連絡会(町推進会の会会長、及び各部会長・副会長の7名対象)
 - 4月10日実施・・・各部会の進捗状況及び全体会の事前打合せ
 - ・部会会議(町推進員の会の意識づくり、社会づくり、環境づくりの3部会)

意識づくり部会：「種まきたい」

社会づくり部会：「むすびたい」

環境づくり部会：「もっとふれあいたい」

・・・各部会ごとで月1～2回程度開催中で、今後必要に応じて随時開催予定としており、実態調査等を目的に住民向けに男女共同参画にかかる各種アンケートを3部会とも実施する予定で、対象は重複しないよう考案中

その他

1. 七尾市視察研修会 5月26日(土)

先進地における男女共同参画の推進状況を研修し、町の男女共同参画推進員として男女共同参画への意識を高めながら自己啓発を目指す

2. 町出前講座受講 6月27日(水)

環境づくり部会にて実施予定の、育児・介護中の家庭を対象とした調査に向けて、まずは行政サービスの現状把握を目的に「福祉サービスってどんなものがあるの？」について町出前講座を利用

3. アンケート調査実施

- ・意識づくり：11月実施予定(秋に予定している第2回コーポの日開催後)
- ・社会づくり：8～11月実施予定(町行政等にかかる女性の参画状況調査)
- ・環境づくり：9～10月実施予定(行政サービスについてのアンケート調査)